

全自動血液凝固測定装置仕様書

1. 調達物品名及び構成内訳

全自動血液凝固測定装置 一式

(内訳)

全自動血液凝固測定装置 1台

2. 調達物品の備えるべき要件

全自動血液凝固測定装置に関しては、以下の要件を満たしていること。

- (1) 測定原理として凝固法、合成基質法、免疫比濁法の測定が可能であること。
- (2) 測定項目はPT、APTT、Fib、AT、FDP、Dダイマーの測定が可能であること。
- (3) 検体処理能力は、PT単項目測定で60検体/時間以上であること。
- (4) 検体の識別は、検体のバーコードで実施することが可能であること。
- (5) 測定データの出力は内蔵サーマルプリンタによる印字が可能であること。
- (6) 測定装置にセットする試薬の冷却機能を有すること。
- (7) 当院に設置済の別機種で使用している試薬による測定が可能であること。
- (8) 検体ラックによる測定が可能であること。
- (9) 検体ラック内の検体を自動的にサンプリングし、測定することが可能であること。
- (10) 10検体(10検体ラック1個)を一度にセットすることが可能であること。
- (11) 測定には専用のサンプルチューブを使用すること。
- (12) サンプルチューブは専用ラックで測定装置内へ架設することが可能であること。
- (13) 測定装置内にサンプルチューブを60本以上架設することが可能であること。
- (14) 消費電力は300VA以下であること。
- (15) 測定装置の寸法は約566mm(横幅)×約490mm(高さ)×約490mm(奥行)以下であること。
- (16) 測定装置メーカーが提供する外部精度管理サービスへの参加が可能であること。

以上